



一緒に取り組みよう
犯罪のない安全・安心なまちづくり

犯罪のない安全で安心な社会は、私たちが生活していく上での基盤であり、その実現は県民みんなの願いです。

県では、「青森県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」に基づき、行政、県民、事業者、地域団体などが連携・協力し合い、一丸となって犯罪のない安全で安心な社会の実現に向けた取り組みを計画的に進めています。

地域の安全は地域で守る！
犯罪に強いまちづくりに向け、できることからはじめてみましょう。

犯罪者はあなたや地域のこんな“無関心”を好みます

- 住民同士が無関心
- 地域ぐるみの防犯活動に無関心
- 犯罪への自衛に無関心
- 住んでいる地域に無関心

×住民同士が無関心
○目を合わせて挨拶をする

日頃から挨拶をしていると不審者に気付きやすくなります。また、犯罪者は顔を覚えられたくないため、声をかけられるとその場を去っていきます。

×住んでいる地域に無関心
○地域にゴミ等を散乱させない

ゴミ出しのルールを守る、地域住民同士で近所の公園のゴミ拾いを行うなど環境美化に努めましょう。ゴミのないきれいな地域は、不審者を寄せ付けず、これらが守られていない地域は犯罪者に安心感を与えていると言われています。

×地域ぐるみの防犯活動に無関心
○緊急避難できる場所を意識する(子ども110番の家、子ども110番の車)

被害にあいそうな場合、またはあった場合、一時的に保護する場所です。また、不審者情報の警察への通報など、犯罪の未然防止にも協力しています。

×住んでいる地域に無関心
○見守りパトロールを実施する

子どもの登下校の時間に合わせて、買物、犬の散歩、庭の手入れなどを行い、それとなく様子を見守るようにしましょう。

ゴミ出しの曜日とルールを守ろう!!

×犯罪への自衛に無関心
○短時間の外出時でも鍵をかける
○犯罪情報を共有する

犯罪者は同じエリアで犯罪を繰り返す傾向があります。犯罪情報は地域で共有し、再発の未然防止に役立てましょう。

×犯罪への自衛に無関心
○地域安全マップを作成する

危険な場所は、「入りやすく」「見えにくい」場所。そのような場所は、だれかに教えてもらうのではなく、自分の力で見つけ、近寄らないことが重要です。マップを作成する過程で、そのための力が育ちます。

メールマガジン「青い森のセーフティネット」の活用を!

声かけ事案や犯罪・事故などの発生状況を県警察からメールでお知らせします。パソコンでも携帯電話でも購読できます。「まぐまぐ!」ホームページ <http://www.mag2.com/> から登録を。

青い森のセーフティネット 検索



(注) 登録料・情報料はかかりませんが、通信料(2円程度)は購読者の負担となります。

×地域ぐるみの防犯活動に無関心
○防犯パトロールを実施する

地域住民がスクラムを組み、不審な声かけの発生時間帯に合わせて実施します。日によってルートを変えると効果的です。

安全・安心
まちづくり旬間

4月21日
~30日

~新入学児童を犯罪から守りましょう~

犯罪のない青森県を目指して、各地区で啓発のためのイベントなどを開催しています。



地域安全マップ
作成指導者養成講座

防犯・交通安全・消費生活に関する総合研修の一環として、地域安全マップの作成方法に関する講習を十和田市とつがる市で開催予定です。



※研修会の日程、申込方法等詳細については県のホームページなどでお知らせします。

三世代で楽しく学ぶ安全・安心教室

親子や祖父母のご家族で、寸劇やクイズなどで防犯や交通安全について楽しく学ぶ教室の開催を予定しています。



※開催日程は決まり次第、下記のホームページにてお知らせします。

「安全・安心まちづくりのページ」 青森県安全安心 検索